

平成 27 年度

事 業 報 告

社会福祉法人 原町成年寮

多機能型事業所：(生活介護事業・就労継続支援 B 型事業)

シャイン

I 運営

働くことを基本に利用者と職員が一丸となって、給食作業を中心に活動した。個々の利用者に合わせ各関係機関と連携しながら支援を行った。給食以外での収益を見込んで、自主生産品（焼菓子・アクセサリー）の製造販売を実施。外部への販路の道筋をつくった。10月より従たる事業所「つむぎ」（生活介護6名）を開所し、本体も（生活介護20名から24名）定員を増やした。

【利用者組織体制】

就労継続B型事業所 定員10名 利用者11名（男性：7名・女性4名）
生活介護事業所 定員30名 利用者22名（男性：16名・女性6名）
（本体：定員24名 利用者21名）（つむぎ：定員6名 利用者2名）

【会議】

職員会議 月1回：全職員
ケース会議 随時
自主生産会議 随時
給食会議 月1回
軽作業会議 月1回

【研修】

<調理研修・衛生研修・福祉専門研修・社会人研修>

6/13 在宅訪問栄養指導・災害時食事提供訓練
7/7 中堅職員研修 5/25 対人支援
5/14 折り紙レジン講座 6/18 食品衛生実務講習
6/25 感染症学習会 8/6 アンガ〜マネジメント
9/25 高齢者対策委員会見学 7/15 就労支援セミナー
9/16 新調理セミナー 9/18 精神障害者の就労
1/12 強度行動障害支援 2/26 食で広がるネットワーク
1/15 障害者差別禁止・合理的配慮
1/26 葛飾特別支援学校公開研究会 2/5 食品衛生責任者講習
2/13 発達障害者相談支援 強度行動障害支援者養成講座

☆資格取得：調理師： ・食品衛生責任者：

【就労支援事業会計】

売上（38,302,142）円

☆給食（36,594,001円） ・お惣菜（376,190円） ・お弁当（875,091円）
自主生産（食品）（180,250円） ・自主生産（雑貨）（50,850円）
自販売機手数料（94,939円） ・定期便（120,000）円 ・段ボール（10,822）円

☆利用者工賃平均工賃

平成27年度（186,407）円／年 （15,533）円／月
昨年度（217,579）円／年 （18,131）円／月

※昨年度に比べ、利用者一人あたりの工賃が減少している。時給での工賃計算をしているが、入院等で労働時間が少なくなってしまった利用者や出勤率の良くない利用者がいた為、全体の支払い工賃が減少してしまった。

Ⅱ 生活介護事業所

生活介護事業利用者：23名

☆利用者工賃平均工賃

平成27年度（173,729）円／年 （14,477）円／月

昨年度（197,933）円／年 （16,494）円／月

【作業活動】

昨年同様に、白衣やエプロンの洗濯・たたみ、所内清掃、地域清掃、弁当箱回収・仕分け、カート・番重洗い、社内便の配達回収・封筒作成を行っている。

また、新たに廃油の運搬を行った。

自主生産では今まで作っていたブックカバー、クリップ、キーホルダーを作成し区役所販売会に出品。新商品としてレジンでピアス、イヤリング、バックチャームを作成し東京都福祉局主催の「Unique pus Market 2016」に出品し、都庁や錦糸町丸井にて販売した。

Ⅲ 就労継続支援B型事業

就労継続支援B型事業：10名

☆利用者工賃平均工賃

平成27年度（217,949）円／年 （18,162）円／月

昨年度（251,960）円／年 （20,996）円／月

働くことを基本とし、作業を通して一般就労を意識できるよう支援を行った。利用者が自分の仕事に責任感や充実感を持てるよう、工賃アップを目指し、給食製造技術の向上を図り、多くの作業を利用者主体で行うよう取り組んだ。安全で安定した給食の提供と配送に、利用者職員ともに高い意識を持てるよう活動した1年となった。

また、日常的により良い人間関係が構築できるよう、働く場として安心できる雰囲気作りや環境に配慮を行った。

衛生面では、定期清掃、手洗いと靴の履き替え、白衣、爪、健康状態の毎朝のチェックなどを行い、事故防止の対策を徹底した。

家庭やGH向けに、栄養管理をもとに情報の提供を行った。必要に応じて食材の配達も行う提案があったが、実現には至らなかった。その代わりに、GHの夕食や朝食の提供を行った。

自主生産品販売として近所の商店で惣菜販売を開始している。また他施設や地域から、お弁当の注文が増加した。

【作業活動】

給食製造作業：給食製造作業全般を行った。

給食配膳作業：ご飯やおかずの盛りつけを行った。

給食洗浄作業：食器器具やお弁当箱の洗浄を行った。

【就労】

一般就労を希望する方に企業の見学を実施した。またシャインの作業を通して社会人としての振る舞いや、仕事に対しての姿勢、身だしなみ、報告・連絡・相談を伝えていった。

男性利用者1名が3月から、就職に繋がる企業実習に行っている。

IV 作業

【給食】 38,025,532 円 原価率 (41.23) %

給食	売上実績	36,594,001 円
お惣菜	売上実績	376,190 円
お弁当	売上実績	875,091 円
自主生産（食品）	売上実績	180,250 円
内材料費		15,680,607 円

昨年度に比べ、給食以外の売上が伸びている。原価率も昨年度に比べ2ポイント改善された。（一般的に給食やお弁当の原価率40%から48%が適性）

① 栄養指導

食事療法が必要な利用者には、その都度アドバイスを行なった。また季節により食中毒や手洗いの講習会を開き、利用者に向けて衛生に対する意識付を行なった。

② 異物混入及び事故対策

毎日作業終了時に、ヒヤリハットとして報告を出し合い、記録を残し事故対策や防止に務めた。

③ 給食委員会

現場の状況報告・職員の体制・利用者の体制・業務の課題や方向性について話し合いを行った。安心、安全な給食の提供を行なう為、ヒヤリハットを出し合い職員間の意識向上に努めた。

④ 食事形態及び代替食の提供

個々のニーズに合わせて代替食、刻み食、ミキサー食、嚥下食、減塩食の提供を行なった。

⑤ 検食及び保存食

検食者は味付け、色彩、形態、意見などを検食簿に記入した。

検品時に原材料をそれぞれ50g採取し、保存食を盛り付け時に献立ごとに50g採取し、-20℃で2週間保存した。

⑥ 弁当・惣菜販売

○お弁当販売

- ・自動車事故対策機構へオードブル12皿
- ・日本障害者スポーツ協会イベントにお弁当（2回：8月・11月）
- ・葛飾区民生委員会議（2回：9月・12月）
- ・通勤寮長会議
- ・かがやけ福祉会新年会 175食
- ・東立石寮朝夕 約2か月
- ・通勤寮、第一葛飾センターより必要に応じ夕食の注文を受けた。

- ・各寮に寮生弁当販売のチラシを配布した。

⑦ 惣菜販売

- ・中村屋米店での惣菜販売を開始（6月より）
- ・やまもも祭りでのリンゴコンポート販売
- ・法人内での販売（月一回の惣菜販売・年末焼き豚）
- ・幼稚園での販売（惣菜）
- ・惣菜販売のポスター・チラシ作製及びマニュアルの作成

●調理

各利用者の特性に合わせ、作業を行っている。技術向上を目指し、それぞれ色々な作業に携われるよう配慮した。また食品の取り扱いや、大型機器の取り扱いなど衛生的且つ安全に行なえるよう支援した。

- ・仕込み作業：野菜の洗浄及び切り物
- ・検品作業：業者から納品された食品の採取保存。記録簿への記入（品質・温度）、所定の場所への収納
- ・調理補助：フライヤーやスチコン、真空パックでの調理作業の補助
- ・菓子製造：自主生産品等の菓子製造、袋詰め
- ・調理室清掃：作業終了時の清掃・ゴミだし・室内の消毒

① 異物混入

9月11日奥戸福祉館の汁缶にドアストッパーの説明書が混入していることがあった。すぐに新しいものと交換し謝罪をしている。ドアストッパーの説明書がドア上部に設置されていた。それが汁缶に落下し混入してしまった。全ドアの説明書の回収を行い、再発防止の対策を取った。異物に対しては、今後十分に注意を払い作業を行なう。

② 食中毒防止

12月に調理担当利用者Tさんが、プライベートで居酒屋に行きユッケ（生肉）を食べ下痢症状を訴えることがあった。医療機関への受診、下痢症状が治まるまでの出勤停止。下痢が治まってから2週間2階での作業停止の措置を取った。また利用者全体へ向け食中毒防止対策の説明を行なった。

- ・一つの作業が終わるごとに、次亜水による調理台消毒
- ・手洗いの指導。2度洗いの徹底
- ・作業工程ラインの交差防止がないように行った。

●給食配膳・配達・洗浄

① 洗浄作業

利用者の特性に合わせた、作業提供をして、利用者が集中できるよう、環境を整えた。一人一人が自分の役割に責任を持てるように、役割を明確化した。

作業の流れを明確にするため、タイムスケジュール表を作成した。タイムスケジュール表を作成したことで、より安全で安定した作業が行えている。

今後は洗浄作業の精度を向上するとともに、人員が増えることを見越して、作業の内容を充実させていきたい。

② 給食配膳

今年度は、昨年に引き続き作業の流れを利用者主体で行えるよう取り組みを行った。各担当を決め、一人一人が責任を持って作業が出来るよう取り組んだ。おいしく食べられるような盛り付けを心がけ、個々のニーズに合わせて代替食や提供食（刻み、ミキサー食、嚥下食、減塩食）などの対応を行った。

今年度の後半より、食数計算を軽作業で行い、パソコンでの自動計算に変更したことにより、食数のミスが減少し尚且つ、パソコンの使える利用者の作業にもなっている。

ラップカッター台の刃の破損があったため、ラップカッター台の使用を止めている。安全な給食を提供するよう努めた。

様々な職員が配膳作業に入れるよう職員ローテーションを行っている。それに伴い配膳作業タイムスケジュールを作成し、スムーズに作業が出来るよう取り組んだ。

③ 配達

昨年度はスムーズな配達を行うため2便での配達を検討していたが、現在は配達先の調整、時間の短縮により1便での配達を行っている。アンジュでの給食の受け渡し場所が各階から1階での受け渡しをおこなえるようになった為、配達にかかる時間が短縮出来ている。直接お客様に届けるため、挨拶等をマニュアル化し利用者一人一人が配達の重要性を意識できるような工夫を行った。

●衛生報告

- ・給食調理従事者の細菌検査を月1回行った。
- ・給食調理従事者は、入室時、健康チェック及び身だしなみチェックを毎朝行った。
- ・調理、配膳室には、2回の手洗いとトリミングを行ってから入室し、手洗いには専用の液体石鹸、爪ブラシ、ペーパータオル、アルコールを用意して使用し、定期的に補充を行った。
- ・インフルエンザ、ノロウイルス対策として、給食調理従事者への健康チェックの強化、館内の塩素による毎日の消毒、嘔吐物処理セットを各階に用意し、迅速な対応が出来るようにした。
- ・利用者に対し、食中毒及び身だしなみや衛生についての講習を行った。
- ・食器の消毒を、メラミン食器である為75度2時間30分の低温殺菌消毒を行った。
- ・飛来昆虫捕虫テープの交換を行った。
- ・穀類、調味料、乾物類は、衛生上十分配慮した専用に保管した。
- ・厨房等の害虫駆除を外部業者に委託して4回実施した。
- ・グリストラップ清掃を行った。さらに、外部業者にも依頼して清掃を4回実施した。
- ・館内清掃を毎日行い、外部業者にも委託し6回実施した。
- ・厨房内換気扇清掃を1回実施した。
- ・定期的な、保健所の立ち入り検査があった。特に問題なし。

V 自主生産品

工賃アップに向けた取り組みとして、昨年よりも販路を増やし、販売を行なった。製造・製作に利用者が主体的に関わるようにし、作業工程も身についた。新たな品目を追加・増量し、販売数を増やして売上アップに務めた。

- ①自主生産品目（食品）：ドーナツ（大、小）・ラフク・おにぎらず・こめせん
自主生産品目（雑貨）：和紙UVレジンアクセサリ－・プラバンキーホルダー・ピアス・クリップ・ブックカバー
- ②参加販売会
- ・障害者施設合同 区役所販売会（6月・12月・2月）
 - ・かつしかスポーツフェスティバル（10月）
- ③ 外部販売
- ・池袋の飲食店にて、ミニドーナツ販売を行った。また、ハロウインのイベント用としてミニドーナツ100セットを販売。
 - ・カナダロイヤル銀行にミニドーナツ6個入り44セットを受注販売。
 - ・松本平太郎美容室銀座店へミニドーナツを定期的に販売している。
- ④ その他
- ・成田空港売店への販売を検討した。空港へ見本を持参している。
 - ・UVレジンアクセサリ－は、東京都福祉保健局主催・自主製品魅力発信プロジェクト「ユニークプラスマーケット」に出品し都庁や錦糸町丸井にて販売。
- ⑤ 異物混入
- ドーナツ消費期限内にカビが発生してしまった。改善策として、包装する際に防腐剤を入れ、密閉度の高いシーラーを購入し包装することでカビを防いだ。

VI 利用者ケース

従たる事業所つむぎが10月より開設されたことにより、シャイン全体の定員が30名から40名に増加した。利用者も現在33名が在籍しており、一人一人に合わせた支援の重要性が増してきている。重大な事故や活動中の傷病は起こらず、概ね安定した支援ができていた。

年度当初に各利用者へ聞き取りを行い、個別支援計画を作成した。後半に向けて見直しを、年度末には総括を行い、来年度につながる支援を心がけた。

各利用者の目標やニーズに応えられるよう、作業提供や行事の実施等を行った。また、利用者同士のトラブルには適切に介入し、安心して活動できる場の提供を心がけた。活動中の事故等がないよう環境作り等を行った。疾病等にも迅速に対処し、健康に活動できるよう対応している。

老若男女様々な利用者が一つの施設で活動するため、今後も年齢や健康状態、本人の希望に沿った支援が求められる。

① 短期訓練

自宅から通所している利用者の中で、希望や必要に応じ立石寮等での短期訓練を実施し、家庭以外の生活を経験した。

3名：Mさん/Yさん/Kさん

VII 行事

作業以外にも見聞を広め、日々を充実したものにするため、様々な外出や行事を行った。

今年度は新卒入所者がおり入所式を行った。また、3月には古希を迎える利用者を祝う会を催した。季節に合わせた花見や忘年会等の他にも、利用者に希望をとり、午後の喫茶外出や、1日かけての個別グループ外出も実施した。また、全体外出として7月に東京ディズニーシー外出を行った。折々に余暇を楽しむことで、日常活動への意欲や、充実した生活が送れるよう支援を行った。

また、自主生産品の販売会等があった際には、希望者で見学を実施した。自分たちが作った製品が販売されている事で、日々の活動の意欲向上につながった。

・4/1 入所式 ・4/3 花見昼食 7/19 東京ディズニーシー外出 12/19 忘年会

3/11 古希を祝う会

その他：誕生日会（隔月）、個別外出、喫茶外出、販売会见学等

VIII 保健

<定期健康診断>

利用者：葛飾区に住民票がある利用者はかつしか健康プラザ（青戸保健所）にて11/11実施。

葛飾区外に住民票がある利用者は葛飾区健診センターにて10/20に実施した。この日に行えなかった利用者は、後日健康診断を受けている。

職員：葛飾健診センターにて10月に全員実施した。

<健康管理として>

- ・服薬の確認と薬の塗布を行った。昼食時は職員が服薬を確認し、チェックシートに記入している。
- ・毎月月末に血圧と体重測定を行った。
- ・平常時、血圧が高い利用者と職員は毎朝通所持に血圧測定を行った。血圧が高かった時は、休んでもらい血圧が下がってから作業に入ってもらった。状態によって軽作業に入った。
- ・寮や家庭と連絡を密に取り、健康管理を行った。
- ・毎日、保健日誌を記入し看護師に検印をもらった。

<細菌検査>

- ・毎月行い、提出者の結果は全員陰性だった。

<その他>

- ・感染性胃腸炎を発祥した人：利用者2名
- ・インフルエンザの流行時期は、対策としてマスクを着用してもらった。

IX 防災

【自衛消防訓練（火災・地震）】

火災や地震を想定し館内の利用者・職員を指定の第一時避難場所へ誘導し非難する訓練を行った。事前に本田消防署奥戸出張所に「自衛消防訓練通知書」をFAXにて報告し、訓練後に「自衛消防訓練実施結果記録書」をFAXし記録として保存した。

○実施日：毎月最終週に実施

○避難場所：奥戸二丁目ポケットパーク（雨天時はシャインの玄関前）

X 地域交流

地域の方々に開かれた施設としてシャインと利用者を理解して頂けるように、奥戸二丁目町会の活動に積極的に参加した。

○地域清掃…利用者の日常的な作業として行った。

○町会…地域や町会のお祭りに参加し（御神輿の担ぎ手・大しめ縄作り）、交流を深めることができた。原町成年寮後援会より寄付を頂き、町会絆纏の購入ができた。町会の総会にも出席している。

XI ボランティア

今年度、4名のボランティアの受け入れを行った。軽作業や行事の保安に参加してもらっている。また、身だしなみ講座の一環として、松本平太郎美容室銀座本店から美容師が来所し、利用者のカットをしてくれた。

XII 従たる事業所 つむぎ

10月より従たる事業所として開所した。アンジュより異動となった発達障害をもつ利用者2名の活動場所としてスタートしている。また、自閉症を持つ実習生の受け入れも3回（男女各1名、延べ4名）実施した。

つむぎは、GHみさきに入寮した利用者を受け入れる予定だったが、GHみさきの開所が10月から4月にずれ込んだため、今年度は2名のみの利用となった。

平成 28 年度運営事業所の現状

社会福祉法人原町成年寮 4月1日現在

No.	事業所名	事業種別	利用者の状況							
			定員	現員	障害支援区分					
					1以下	2	3	4	5	6
1	葛飾通勤寮	宿泊型自立訓練	35	25						
2	奥戸福祉館	生活介護	30	31			9	11	7	4
		就労継続B型	30	28		8	6	1		
3	アンジュー	生活介護	80	80		16	21	21	13	9
4	フォレスト	就労移行支援	20	21						
		自立訓練(生活訓練)	10	8						
5	シャイン	生活介護	30	23		5	11	6		1
		就労継続B型	10	11	6	2	2	1		
6	かつしかセンター	共同生活援助	355	334	157	59	59	34	19	12
7	あらかわセンター	共同生活援助	12	12	5	2	3	2		
8	つばさ(都事業団受託)	共同生活援助	7	7		2	4	1		
合計			619	580	168	94	115	77	39	26
	平成27年度実績		利用者数		1以下	2	3	4	5	6
9	ドロップ	移動支援	158							
		居宅介護	8							
		行動援護	6							
10	糸でんわ	計画相談	268(件)							
		モニタリング	261(件)							
11	葛飾区緊急一時保護事業	公益事業	106							
合計			807							

備考 通勤寮・就労移行は障害支援区分非該当(訓練等給付)

ドロップ・緊一(利用者数)・糸でんわ(サービス利用計画作成数)平成27年度実績